



小野小だより

「強く 正しく 美しく」

令和2年6月1日

「次の言葉から、自分の学校を想像しなさい。」

「『心の3密』でがんばりなさい。」

小野小学校長 檜本由広

6月1日、全校生そろって学校再開。2週間の分散登校を経て、通常通りの学校をスタートさせました。青空始業式から約2か月。今日は、移動時の階段や下駄箱前の密集を回避するため、校内放送で、子供たちに話しました。

「さて、学校ってどんなところだったのか思い出してみまじょうか。校長先生がいくつか言葉を選んで言いますから、その言葉から、いろいろと自分の学校を想像するんですよ。」

「じゃあ、目を閉じてごらん。まずは、『笑顔』・・・あなたの笑顔はいいね。『友達』・・・いっぱいいるとうれしいね。『幸せ』・・・みんなでそうなりたいね。『挨拶』・・・おはよう。混雑していませんか。混んでいたら待つんですよ。『思いやり』・・・相手のことを考えてマスク着用。今、校長先生が選んでいる言葉はね・・・。」

「実は、6年生たちが児童会選挙の演説で使っていた言葉なんですよ。小野小学校をよく表しているよね。もう少し続けます。『明るく、楽しく』・・・『チャレンジ、やってみよう』・・・『変える。よりよく変える』・・・。よりよい学校、よりよい人生を願っていて、すべてが、前向きだね、いい言葉ばかりです。」

「続いて、黒板の上の学年目標を見つめて、がんばっている自分の姿を想像しなさい。」

「目を開けなさい・・・。」

「4年生 (Piece Peace)、一人一人がVサインを送っていますね。1年生 (なかよし)、なかよく勉強していますね。2年生 (やさしさをひろげよう)、あなたのやさしさが広がっていますね。3年生 (3(サン)シャイン)、お日様のようにまぶしいね。5年生 (5 (Go) on!)、スイッチが入ったね。動き続けているよ。6年生 (One Team)、素晴らしい学校だね。あなたたちがいるからです。はい、がんばっているみんなに拍手。拍手は大きくていいよ。」

「いろいろ思い出し、想像したあなたたちに、3つの密についてお話しします。3密だね。みんなが、最近よく耳にする3密は、みんなで行動するときには気をつけることを表している言葉ですが、校長先生がお話しするのは、『心の3密』だよ。」

「『心の3密』、まずひとつめは、心は密閉させてはいけません。教室の窓やドアと同じように、心の窓と扉は大きく開いてオープンにしなさい。そうすれば、未来が広がり、社会が変わります。ふたつめは、みんなの心は一つに密集させなさい。教室で1か所に集まることはよくないけれど、心は一つに集めなさい。ワンハートだね。みつめは、お友達とお話するときには、真正面で近づく密接はだめだけど、心と心の密接は、がんばりなさい。向かい合ってお話するときにはマスクが必要だけれど、1m以上離れても、目と目で、マスク越しの目の玉の表情も加えて、友達と、そして先生と、心と心で密接に語り合いなさい。」

「以上、『心の3密』、しっかりがんばるんですよ。」

「返事の代わりに、元気に拍手。応援しています。」

# 学校再開と感染症対策

水泳の授業や運動会、音楽会の中止についてもお知らせしています。

本校の教育活動が再開しました。徐々に、社会全体の活動が戻ってくるという期待感の一方で、不安や感染拡大への懸念の声も聞こえてきます。

その中で、本校が実施する感染症対策については既にお知らせしましたとおり、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～」を参考に、①身体的距離の確保については、1mを目安に学級内で最大限の間隔をとること、②感染リスクの高い教科活動等については、十分な感染症対策を行った上で実施するといった行動基準をもとに、そして対策を講じてもお感染のリスクが大きい活動は中止し、教育活動を再開したいと考えています。

## 1 基本的な感染症対策

### ○ マスク着用

飛沫を飛ばさないよう、常時マスクを着用します。

体育の時間や登下校時は、熱中症などの健康被害も心配です。暑くなったり、息苦しく感じたりしたときは外すように伝えています。

### ○ こまめな手洗いと消毒

登校時、給食の前後、外から教室に入る時、トイレの後、多くの子供が触れる場所や共用の教材、教具、情報機器などを触る前後で手洗いすることを指導します。

消毒液は、教室入り口に置いています。

教室やトイレなど、特に多くの子供が手を触れる箇所（机・椅子、ドアノブ、手すり、スイッチなど）は、子供が下校後に消毒液を使用して消毒します。

### ○ 換気

気候上可能な限り、今なら常時2方向の窓を同時に開けて行う。空調使用時においても、30分に1回の換気をします。

### ○ 3密（密集・密接・密閉）の回避

施設等の制約から1メートルの距離を確保することが難しい場合にも、児童同士の身体的距離をできるだけ確保し、換気を十分にを行い、マスクを着用することなどを併せて行い「3つの密」を避けるよう努めます。

地域の方から、マスクを合わせて600枚いただいています。有効に使わせていただきます。

## 2 教育環境と身体的距離

○ 子供と子供との間隔は、1メートルを目安に学級内で最大限の間隔をとるよう、黒板に正対して座席を配置します。

1クラスの人数が多い6年生の教室では、子供同士の距離を1m空けることができるよう、机と机の間隔を左右40cm、前後65cm離して座席を配置しています。

他の教室でも、最大限の距離を確保し、その上で、十分な換気とマスクの着用、手洗いの徹底とを組み合わせ、感染のリスクをおさえるよう努めます。

### 3 各教科等の指導における感染症対策

感染のリスクが高い学習活動があります。そんな活動においては、可能な限り感染症対策を行った上で実施することとしますが、それでもなおリスクが高くなると考えられる活動等は、実施時期をずらして実施、または今年度は中止することとします。

- できるだけ個人の教材教具を使用し、子供同士の貸し借りはしないようにします。
- 器具や用具を共用で使用する場合は、使用前後の手洗い徹底します。

#### <感染のリスクが高いと考えられる各教科等の活動>

☆「子供同士が長時間、近距離で対面形式となるグループ活動等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」

☆理科における「子供同士が近距離で活動する実験や観察」

☆図画工作における「子供同士が近距離で活動する共同制作等の活動」

☆音楽における「室内で子供同士が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」

☆家庭科における「子供同士が近距離で活動する調理実習」

☆体育における「子供同士が密集する運動」や「近距離で組み合わせ、接触する運動」

### 4 中止・変更する主な教育活動<学校行事>等

教育活動の感染リスクとともに、臨時休校によって実施できなかった「授業時数の確保」についても考えあわせて、実施の可否を判断しました。

#### ○ 水泳授業を中止します。

水を介しての感染リスクは低いと考えられていますが、①更衣室が十分でない中では、更衣が密になること、密を避けようとする準備に時間を要すること、②水泳中や上がった際の鼻水、唾液等による飛沫感染の予防に限界があること、③健康診断等が未実施で、児童の健康状態を把握できていない状況で水泳を実施することは、極めて危険であることから、今年度は体育の授業において水泳を中止します。

#### ○ 運動会と音楽会を中止します。

本校の教育活動の中でも、大切な教育活動として位置付け、長期にわたって準備を進め実施してきた運動会と音楽会です。子供たちの成長が確認でき、保護者の皆様も楽しみにしていらっしゃる教育活動です。

それだけに、①全児童の保護者を対象に来校を期待する活動であり密集を招いてしまうこと、②運動会の競技や音楽会の合唱・合奏が感染のリスクが高い活動で構成されており、従来通りの実施は極めて困難なこと、そして、夏休みを短縮して「授業時数の確保」を重視したい中で、③運動会も音楽会も長期にわたり多くの練習時間を捻出する必要があることから、苦渋の選択となりますが、運動会と音楽会は中止します。

#### ■ 夏季休業期間を変更します。

- 1学期終業式 8月7日(金) 11:30下校(給食なし)
- 夏季休業日 8月8日(土)～8月16日(日)
- 2学期始業式 8月17日(月) 11:30下校(給食なし)

## 5 休み時間等における感染症対策

新型コロナウイルスに関する正しい知識を身に付け、感染リスクを自ら判断し、これを避ける行動をとることができるよう、1か所に密集したり、大声を出したりして遊ぶことは慎むように指導した上で、遊びについてはできるだけ屋外での活動を促します。遊具やボール等の使用は制限しませんが、屋外から戻ってきたときは、石鹸で手洗い（消毒）をすることを継続して指導します。

○昼休みの運動場が密になるため、分散して昼休みと掃除を行います。（※「1・3・6年生が昼休み」している時間に「2・4・5年生が掃除」及びその逆で設定する。）

## 6 給食時における感染症対策

○給食時間を10分延長して実施します。

○待っている児童もマスクを着用し静かに待つ。

○食事は、前を向いて、会話は控える。（○食事後は、マスクを着用する。）

## 7 清掃活動中の感染症対策

○換気の良い状況で、マスクをして行う。掃除後は、手洗い（消毒）を行う。

## 8 登下校中の感染症対策

○集団登下校は、1列で前の人とは1m程度の間隔を開けて会話は控える。

○登校時は、正門前の密集を避けるため、子供の入り口を分散する。

○下駄箱前での密集を避け、譲り合い、待機することを指導する。

※ 登下校時のマスクの着用は、暑くなったり、息苦しく感じたりしたときは外すように伝えていきます。

以上のような感染症対策を徹底しつつも、感染リスクはゼロにすることはできないという事実を踏まえながら、どうしても密になってしまう下駄箱周辺、手洗い場・トイレ周辺での子供たちの適切な行動が身に付くよう、全職員で継続して指導し続け、工夫できることを見つけながら取り組んでまいります。

約2か月ぶりの学校再開です。不安を覚える子供たちの心に寄り添うことにも配慮しながら、通常の学校生活に戻っていきたくと考えています。

加えて、新型コロナウイルス感染症から派生する差別・偏見・いじめなどは、決して許されるものではありません。それらの対応につきましては、これまで同様に道德・人権教育の一環として取り組んでまいります。

最後に、保護者の皆様には、重ねてのお願いとなりますが、お子様に対して、手洗いやソーシャルディスタンスなど新しい生活様式が習慣となるようお伝えいただくとともに、マスク・ハンカチなどの持ち物、朝の検温・健康観察、健康観察カードの提出、登校後の体調の変化に応じた対応等へのご協力など、本校が進めていく感染症予防にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。